

主要著書・編著

書名	発行年月日	出版社等	摘要
大分県古地図目録	昭和二十七年十一月	大分大学歴史・地理研究会	共編
大分県史料一〜三七	昭和二十七年十月十日 昭和二十九年十二月十日	大分県史料刊行会	
畿内庄園の基礎構造	昭和三十一年五月十五日	吉川弘文館	
大分県の歴史	昭和三十四年十一月	宝文館	『郷土の歴史』九州篇 共編著
大分県の歴史と文化	昭和三十六年十二月一日	毎日新聞社	共編著
豊後国大野荘史料	昭和三十七年十月四日	九州荘園総合研究会	『九州荘園史料叢書』一、孔版
豊後国村明細帳(一)	昭和三十八年三月三十一日	大分県地方史研究会	『大分県地方史料叢書』一、孔版
豊後国村明細帳(二)	昭和三十九年二月二十九日	同 右	同 右 二、孔版
豊後国郷帳上	昭和三十九年三月二十九日	同 右	『大分県地方史料叢書』二
豊後国阿南庄史料	昭和四十一年十二月二十日	九州荘園総合研究会	『九州荘園史料叢書』十二、孔版
総合地方史大年表 豊後国	昭和四十二年二月十五日	人物往来社	
豊後国 <small>賀来庄 植田庄</small> 史料	昭和四十二年十一月十二日	九州荘園総合研究会	『九州荘園史料叢書』十六、孔版
豊後国村明細帳(三)	昭和四十三年三月二十五日	大分県地方史研究会	『大分県地方史料叢書』三、孔版、 共編
豊後国村明細帳(四)	昭和四十四年三月二十五日	同 右	同 右 四
増訂畿内庄園の基礎構造上・下	昭和四十四年十月二十日 昭和四十五年五月三十日	吉川弘文館	
大分県の歴史	昭和四十六年八月二十五日	山川出版社	

書名	発行年月日	出版社等	摘要
大和国若槻庄史料一、四	昭和四十八年三月三十一日	吉川弘文館	共編
豊後国郷帳下	昭和四十九年三月二十五日	大分県地方史研究会	『大分県地方史料叢書』二
大分の歴史一、二〇	昭和五十一年十一月十日	大分合同新聞社	編著、総監修
豊後国大野荘史料	昭和五十四年九月一日	吉川弘文館	『荘園史料叢書』
角川地名大辞典44大分県	昭和五十五年十一月十八日	角川書店	編著
大分百科事典	昭和五十五年十二月一日	株式会社大分放送	監修・著
源平の雄緒方三郎惟栄	昭和五十六年六月二十五日	第一法規出版株式会社	
豊後大友氏の研究	昭和五十六年十一月十五日	第一法規出版株式会社	
大分県史中世篇Ⅰ	昭和五十七年三月三十一日	大分県	共著
増訂豊後大友氏の研究	昭和五十七年十二月十日	第一法規出版株式会社	
豊後国荘園公領史料集成	昭和五十九年十二月二十五日	別府大学附属図書館	既巻十二巻
大分県史中世篇Ⅱ	昭和五十九年九月二十日	大分県	共著
大分県史中世篇Ⅲ	昭和六十二年三月三十一日	大分県	共著
増補新訂源平の雄緒方三郎惟栄	昭和六十二年三月三十一日	山口書店	共著
大分歴史事典	平成二年十二月	株式会社大分放送	監修・編著
大分県歴史人物事典	平成八年八月二十日	大分合同新聞社	総監修・著

監修・市町村史等編監修

書名	刊行年月日	発行
大分県の百年	昭和四十四年三月十日	大分県発行
戦国文書聚影大友氏篇	昭和四十九年四月十五日	柏書房
大分県教育百年史一、四	昭和五十一年三月三十一日 同 年十一月三十日	大分県教育委員会
KKCTP大分県の歴史	昭和五十四年二月	教材開発センター
大分の歴史ものがたり	昭和五十五年十一月二十日	大分県小学校教育研究会社会科部会編
大分県風土記	昭和六十三年十一月十五日	旺文社
大分県先哲叢書大友宗麟資料集一、五	平成五年三月三十一日 同 六年三月三十一日	大分県教育委員会
大分県先哲叢書大友宗麟評伝	平成七年三月三十一日	大分県教育委員会
玖珠郡史	昭和四十年十二月一日	玖珠郡史編集委員会
安岐町史	昭和四十二年五月二十五日	安岐町史刊行会
大分県朝地町史	昭和四十二年十月二十日	朝地町史刊行会
佐賀関町史	昭和四十五年十一月十七日	佐賀関町史編集委員会
真玉町誌	昭和五十三年三月二十一日	真玉町史刊行会
犬飼町誌	昭和五十三年三月三十一日	犬飼町史刊行会
玖珠郡教育文化史	昭和五十四年八月一日	玖珠郡教育文化史刊行会

書名	刊行年月日	発行
郷土史野津原	昭和五十五年三月十日	野津原町
大分県大野町史	昭和五十五年十二月十日	大分県大野町史刊行会
院内町誌	昭和五十八年十一月三十日	院内町誌刊行会
久住町誌	昭和五十九年三月三十一日	久住町
直入町誌	昭和五十九年七月三十一日	直入町誌刊行会
津久見市誌	昭和六十年三月三十日	津久見市誌編さん室
天瀬町誌	昭和六十一年三月一日	天瀬町教育委員会
大分県三重町誌総集編	昭和六十二年十一月三日	三重町
臼杵市史上・中・下	平成二年三月三十一日 平成四年三月三十一日	臼杵市史編さん室
日田市史	平成二年十二月十一日	日田市
宇目町誌	平成三年十一月二十日	宇目町
野津町誌上・下	平成五年三月三十一日	野津町
九重町誌上・下	平成七年二月一日	九重町
豊後高田市の特殊論	平成八年九月三十日	豊後高田市
上浦町誌	平成八年十二月二十日	上浦町

主要論文等

論 文 名	発 表 年 月 日	発 表 誌 等
<p>興福寺六方衆について                      中世社寺を中心とせる落書起請に就いて                      興福寺六方末寺の構成的研究                      興福寺六方末寺の構成について                      中世における人身売買について                      九州地方の「ひかり」について                      畿内型庄園の名稱造に関する一試論                      畿内型庄園の成立と均等名の形成過程                      大乗院領大和国出雲庄の場合                      大和平野における環濠集落の形成と鄉村制との関係                      田堵と名主との関係                      二豊の庄園について(一)―豊後国因田帳―                      畿内庄園における均等名の歴史的性格                      国府時代                      松平忠直の豊後配流上の書状                      天正年間の豊後国の間別帳</p>	<p>昭和十四年 八月 三十日                      昭和二十年 三月 一日                      昭和二十四年 九月 十五日                      昭和二十四年 十月 十日                      昭和二十四年十一月                      昭和二十五年 六月                      昭和二十六年十二月 三十日                      昭和二十八年 三月 二十日                      昭和二十八年 四月                      昭和二十九年 九月 一日                      昭和二十九年 十月二十五日                      昭和三十年 二月                      昭和三十年 三月二十五日                      昭和三十年 八月二十五日                      昭和三十一年 六月 十五日</p>	<p>『史学研究』一一の一                      『史学雑誌』五六の三                      『大分師範学校研究報告』                      『復刊史学研究』一                      大塚史学会                      『民間伝承』一四の六                      『史学研究』四六                      『史学雑誌』六二の三                      『史学研究』五〇                      『日本歴史』七六                      『大分県地方史』創刊号                      竹田理三編『封建制成立の研究』所収                      『大分市史』上                      『大分県地方史』五                      『大分県地方史』七・八合併号</p>

論 文 名	発 表 年 月 日	発 表 誌 等
荘園時代の別府―二豊庄園の研究(一)― 大友時代末期の豊後臼杵 豊後国日田郡日田荘・津江山・大肥庄について 一 二豊庄園の研究(三)― 蓮城寺石造宝塔三基 史料解説「庄園増加」	昭和三十二年 七月二十八日 昭和三十三年 五月二十八日 昭和三十四年 一月 五日 昭和三十四年 四月 三十日 昭和三十四年 六月 一日 昭和三十四年 六月 二十五日 昭和三十四年 六月 二十五日 昭和三十四年 八月 三十日 昭和三十四年 十二月 二十五日 昭和三十五年 一月 一日 昭和三十五年 一月 一日 昭和三十五年 二月 二十五日 昭和三十五年 三月 二十五日 昭和三十五年 九月 二十五日 昭和三十六年 一月 一日 昭和三十六年 十月 二十五日	『大分県地方史』一一・一二合併号 『大分県地方史』一三―一六合併号 同 一七―二〇合併号 『大分県の文化財』第二集 『歴史教育』七の五 『大分県地方史』二一―二二合併号 同 同 『地方史研究』四〇 火野葦平編『九州歴史散歩』河出新社 『日本歴史』一三九 『西日本史学会創立十周年記念論文集』 『大分県地方史』二三 『大分大学学芸学部研究紀要』九 『大分県地方史』二四 『日本歴史』一五一 『大分県地方史』二五
九州地方の「ひかり」について 一 語源とその歴史的意義― 豊後国国東郷と諸富名について 一 二豊庄園の研究(四)― 中世の村落―荘園の実地研究法― 大分・別府・臼杵・竹田・日田 大和の悪党 西国荘園研究の覚書 一 宇佐宮領を中心として― 豊後国大分郡勝津留・津守荘・勾別符・植田庄 一 二豊庄園の研究(六)― 豊後国由原八幡宮領荘園の研究 一 二豊庄園の研究(五)― 豊後大友氏の出自について 古文書と方言 豊後大友氏の downward 土着と嫡子単独相続制の問題		

公武権力と荘園制

歴史と伝説

―豊後大野荘と大友氏について―

豊後における国衙関係の神社

大野郡三重郷の地頭新田陸奥守について

―豊後国岡田帳考証―の考証

大友宗麟の津久見隠居について

豊後大野庄における在地領主制の展開

国東御領諸富名主の系譜

―別府市後藤氏蔵「紀系図」について―

大分県史

古代・中世・近世のくじゅう

東寺領若狭国太良荘の均等名について

地方史研究の現状―大分県―

豊後国府と守護所

『大分県史料』補遺(一)

大友宗麟のヤソ会総長宛書状の真偽について

荘園制と封建制私見

―一般的理解の推進のために―

大分―上田保蔵豊後府内城下図―

昭和三十七年十二月二十四日

昭和三十八年 三月 一日

昭和三十八年 三月二十五日

昭和三十九年 一月 三十日

昭和三十九年十二月 三十日

昭和 四十年十二月二十五日

昭和四十二年 三月 三十日

昭和四十二年十一月 五日

昭和四十三年 三月 三十日

昭和四十四年 六月 十日

昭和四十四年 九月 一日

昭和四十五年 九月 一日

昭和四十五年十二月三十一日

昭和四十六年 九月二十五日

昭和四十七年 七月

昭和四十七年十一月二十五日

岩波講座『日本歴史』中世一

『教育大分』一六二―四

小倉豊文編『地域社会と宗教の史的研究』

『大分県地方史』三二・三三合併号

『臼杵史談』五六

『大分県地方史』三八―四〇合併号

同 右 四五

『郷土史大系』一一、宝文館

大分大学教育学部『くじゅう総合学術調査報告書』

竹内博士還暦記念会編『荘園制と武家社会』

『地方史研究の現状』三、吉川弘文館

『古事類苑月報』四二

『大分県地方史』五八

同 右 六二

『日本中世史論集』

『日本の市街古図(西日本編)解説』鹿島研究所出版会

鹿島研究所出版会

論 文 名

発 表 年 月 日

発 表 誌 等

古代・中世の大分

私の荘園研究の回顧と今後の課題(退官記念講演速記)

島津軍侵入と豊後南郡衆の内応―入田義実の場合一

釈魔信仰開祖高司盛雲法印供養費調査について

書陵部所蔵「八幡宮関係文書」に見える豊後国石垣別符(弁分)と高田荘地頭代

大友宗麟とキリスト教的理想国

興福寺大乘院領大和国横田荘について  
―安田次郎氏の均等名論によせて―

荘園史料としての『大乘院寺社雜事記』

豊後国日田荘の成立について―「私安園田帳」の「金剛院領五百町」の検討―

豊後清原氏の土着発展と玖珠郡荘園村落の展開

豊後玖珠郡の荘園化と展開  
―特に郡荘の立券と解体について―

豊後国における「荘園公領制」の成立展開

野津本「大友系図」の紹介  
―大友氏出自に関する決定的史料―

豊後海部郡毛井社地頭職について

国領豊後国海部郡柴山村について

豊後国における皇室御領荘園の研究

昭和四十七年 三月 三十日

昭和五十年五月

昭和五十年十二月

昭和五十四年三月二十日

昭和五十四年五月

昭和五十五年二月

昭和五十五年三月二十日

昭和五十六年六月二十三日

昭和五十八年三月十日

昭和五十九年四月

昭和五十九年十月三十日

昭和六十一年三月三十一日

平成元年六月三十日

平成三年六月三十日

平成八年三月三十日

平成八年三月

『大分県地方史』七三

私家版(堀根印刷)

別府大学『史学論叢』八

二豊文化研究所(私家版)

『鎌倉遺文』月報一六

別府大学『史学論叢』一一

『史学雑誌』八九の三

『日本歴史地名大系歴史地名通信』平凡社

別府大学『史学論叢』一四

『玖珠郡史談』11

『大分県地方史』一一五

『社会部会研究集録』二二

『大分県地方史』一三四

同 右 一四二

同 右 一六一

大分県立先哲史料館『史料館研究紀要』

随想・紹介・雑録

標 題

発行 昭和二十九年三月十六日

大分合同新聞 発行表 二十誌

<p>初びかり「二豊風土記」(二) 成人式と日本の慣習 偽文書について 県地方史研究会結成にあたって 戦国の猛将一鉄の文書も ―大収獲の古文書探訪― 大野直入兩郡良兵を出す 豊後の練貫酒 町村合併と村境 鉄のお土産 町村合併と町村名 一〇号発刊に当たって 国東・速見諸家文書 国東半島の古文書と荘園 藤間生大著『やまと・たける』 桑田忠親著『淀君』</p>	<p>昭和二十九年 一月 六日 昭和二十九年 一月 十四日 昭和二十九年 一月 二十七日 昭和二十九年 七月 十八日 昭和二十九年 八月 四日 昭和二十九年 十月 二十五日 同 昭和三十年 二月 十七日 昭和三十年 六月 十七日 昭和三十一年 十月 十五日 昭和三十一年 十二月 一日 昭和三十年 七月 六日 昭和三十二年 五月 三日 昭和三十三年 四月 二日 昭和三十三年 十二月 二十日</p>	<p>朝日新聞 大分合同新聞 朝日新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 『大分県地方史』創刊号 同 大分合同新聞 『大分県地方史』四 同 九 同 十 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞</p>
--	---	---

標 題	発 表 年 月 日	発 表 誌 等
大友時代の二豊荘園 宮川満著『太閤検地論』と杉山博著『庄園解 体過程の研究』 和歌森太郎編『くにさき』 久住山(4)古代中世 一日一汗の功德 市町村合併と小字名 靈山寺の月 市区改正と町名 半田さんを偲ぶ 大友宗麟と津久見隠居 「物づくり」と「人づくり」 歴史と伝説 県地方史研究会十年の足跡 梅花一輪 清原貞雄博士の生涯と業績 地名は無形文化財	昭和三十四年 四月 一日 昭和三十四年 十月 一日 昭和三十五年 五月 一日 昭和三十六年 二月二十一日 昭和三十七年 四月二十八日 昭和三十七年 八月 三十日 昭和三十七年 九月 十四日 昭和三十八年 三月 二十日 昭和三十八年 八月二十五日 昭和三十八年十一月 十二日 昭和三十九年 四月 一日 昭和三十九年 五月 七日 昭和三十九年十一月二十一日 昭和四十年 一月二十六日 昭和四十年 二月二十八日 昭和四十年 三月 十六日	『教育広報』四 「週間讀書人」 『日本歴史』一四三 朝日新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 『大分県地方史』二九・三〇合併号 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 大分合同新聞 『大分県地方史』三十六・七合併号 大分合同新聞

標 題	刊 行 年 月 日	刊 行 誌 等
大友時代・小藩分立時代	昭和四十年 四月 七日	『郷土藩主遺品展』図録
目で見る藩政史―「藩主遺品展」を見て―	昭和四十年 四月 九日	大分合同新聞
鼻四十到来	昭和四十年 四月二十三日	大分合同新聞
久多羅木氏をいたむ	昭和四十年 五月 四日	大分合同新聞
博士論文と私	昭和四十年 七月 十八日	大分合同新聞
春の野山の思い出	昭和四十一年 五月 十日	大分合同新聞
忘れ得ない書物	昭和四十一年 六月 三十日	『教育大分』一九八
集中豪雨と水ガメ	昭和四十一年 八月二十二日	大分合同新聞
大友氏研究の權威―田北学先生の死をいたむ―	昭和四十一年十二月 二日	大分合同新聞
松のみどり	昭和四十二年 一月 六日	大分合同新聞
選挙の歴史	昭和四十二年 四月二十六日	大分合同新聞
中野幡能著『八幡信仰史の研究』	昭和四十二年 五月 三十日	大分合同新聞
市町村史ブーム	昭和四十二年 七月二十六日	大分合同新聞
青木猛比古特集号刊行に当って	昭和四十二年十二月 三十日	『大分県地方史』四七
地震と文化財	昭和四十三年 一月 七日	大分合同新聞
大学と地域社会	昭和四十三年 一月三十一日	大分合同新聞

標 題	発 表 年 月 日	発 表 誌 等
<p>「逃げた水ガメ」後日談  中野幡能著『八幡信仰史の研究』  くじゅう  徳川美術館秘宝展を見て―豊臣秀吉の手紙―  大友宗麟の家庭争議  「豊臣秀吉と大阪城展」の古文書  現代の民族移動  大友宗麟の墓地  大友宗麟と大徳寺瑞峯院―統宗麟の墓地―  「南蛮美術展」に期待  歴史と偽文書  地方史のとびら、大分県上  地方史のとびら、大分県中  地方史のとびら、大分県下  尺間山の雲海と初日  会員増募と地方史研究の大衆化</p>	<p>昭和四十三年 十月 五日  昭和四十三年 十月 二十日  昭和四十四年 九月 四日  昭和四十五年 四月 九日  昭和四十五年十二月  昭和四十六年 四月 八日  昭和四十六年 七月 一日  昭和四十六年 八月二十三日  昭和四十六年 九月二十九日  昭和四十六年 十月 二日  昭和四十六年十二月 十七日  昭和四十六年  昭和四十六年  昭和四十六年  昭和四十七年 一月 六日  昭和四十七年 一月</p>	<p>大分合同新聞  『史学雑誌』七七の一〇  大分合同新聞  大分合同新聞  『婦人九州』  大分合同新聞  大分合同新聞  大分合同新聞  大分合同新聞  大分合同新聞  朝日新聞  朝日新聞  読書新聞  読書新聞  読書新聞  大分合同新聞  『芸振』一〇</p>

標 題	編 年 表 年 度 月 日	大分合路新聞表 誌 等
教育研究所の来し方	昭和四十七年 三月 十日	教育研究所報一
故立川輝信氏弔辞	昭和四十七年 三月 三十日	『大分県地方史』六五
立川輝信さんの思い出	昭和四十七年 三月 三十日	『大分県地方史』六五
新制大分大学の発足	昭和四十七年 三月 三十日	『教育大分』二六七
人間性の回復と郷土教育	昭和四十八年 一月 三十日	『教育大分』二七七
新著紹介、染矢多喜男著『日本の民俗44大分』 久米忠臣校編、是永六雅編『追遠拾遺』野口 ・佐藤編『豊後国村明細帳』田北学著『増補 訂正編年大友史料』別巻上	昭和四十八年 八月三十一日	『大分県地方史』七〇
海底の港町―沖ノ浜のことども―	昭和四十八年十一月 十五日	大分労演『沈んだ島の物語』パンフレット
古代・中世の大分	昭和四十九年 三月 三十日	『大分県地方史』七三
座談会「大友宗麟は神経質だった」	昭和四十九年 七月 一日	『アドバンス大分』七月号
新刊紹介、中野囀能『古代国東文化の謎』、高 原三郎『大分の神々』、山田正任『図説豊後刀』	昭和四十九年 八月 三十日	『大分県地方史』七四
大友宗麟の虚像	昭和四十九年十一月 八日	県民演劇「大友宗麟」パンフレット
当時は苦しみの連続―ことしは創立20周年―	昭和四十九年十二月 一日	『芸振』二五
私の健康法「一日一汗」	昭和五十年 六月 一日	『広報おいた』
郷土史について	昭和五十年 七月 一日	『図書館大分』六三
豊後風土記	昭和五十年 七月 一日	『歴史読本』臨時増刊 『歴史の名著』一〇〇

標 題	発 表 年 月 日	発 表 誌 等
<p>わかりやすい郷土藩史 六郷満山調査雑感 流出する文化財 瓜生島について 大分県の文化財保護の問題点 豊後とポルトガル 「大分の医療史」を読んで 五十余年前の思い出 私の発言―大友宗麟の日向遠征― 緒方惟栄八百年祭によせて 田染荘の現地調査 本誌百号発行を願みて 地方史の虚実(上)―宗麟の社寺破却― 地方史の虚実(中)―生きていた田原親虎― 地方史の虚実(下)―大友宗麟と手火矢・石火矢― 私の大友宗麟像</p>	<p>昭和五十年 昭和五十一年十月十日 昭和五十一年十二月一日 昭和五十二年八月十三日 昭和五十二年八月二十五日 昭和五十二年十月十日 昭和五十三年八月二十六日 昭和五十三年十一月二十四日 昭和五十五年二月二十五日 昭和五十五年十月二十日 昭和五十五年十二月二十日 昭和五十五年十二月三十日 昭和五十六年一月十六日 昭和五十六年一月二十二日 昭和五十六年一月二十九日 昭和五十六年九月八日</p>	<p>大分合同新聞PR版 「別府大学通信」一〇一四号 大分県「愛護協会報」一 大分合同新聞 「大分の教育」 朝日新聞 大分合同新聞 朝日新聞 『中島五太追想録』中島征夫私家版 大分合同新聞 大分合同新聞 『別大中世史研究』二 『大分県地方史』一〇〇 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 大分合同新聞</p>

友への便り

わが著書を語る

小著『豊後大友氏の研究』について

堀枢さんを送る

『玖珠郡史談』十号発刊を祝す

六郷満山文化研究に対する一提言

わが著書を語る

豊後国荘園公領史料集成(全八巻)について

『挾間町誌』をよむ

中山重記著『宇佐八幡宮の研究について』

大友宗麟と津久見

歴史の道を歩む

『玖珠郡史談』二十号刊行を祝す

豊の国歴史シリーズ①  
国宝宇佐神宮本殿の秘密

豊の国歴史シリーズ②  
地名は生きもの

豊の国歴史シリーズ③  
「村おこし」の神となった源平の雄緒方惟栄

豊の国歴史シリーズ④  
統緒方惟栄

豊の国歴史シリーズ⑤  
歴史の虚構と史実

発 表 年 月 日

昭和五十七年 三月 十六日

昭和五十七年 七月 十日

昭和五十七年十二月二十七日

昭和五十八年十一月

昭和五十九年 三月三十一日

昭和五十九年十一月 一日

昭和 六十年 六月 三十日

昭和 六十年 九月 三十日

昭和六十二年 五月

昭和六十二年十二月

昭和六十三年 五月 一日

平成 三年 一月 一日

平成 三年 二月 一日

平成 三年 三月 一日

平成 三年 四月 一日

平成 三年 五月 一日

大分県発行表 一六 誌 等

『道徳』昭和七十五年記念誌

別大図書館報「アルゴノート」5

『堀枢氏回想録』

『玖珠郡史談』一〇

『国東半島の文化』13

別大図書館報「アルゴノート」14

『大分県地方史』一一八

『大分県地方史』一一九

『二十一世紀をめざして大きく翔けわが津久見』

大分大学教育学部同窓会『創立一〇周年記念誌』

『玖珠郡史談』二〇

『広報おおいた』

『広報おおいた』

『広報おおいた』

『広報おおいた』

『広報おおいた』

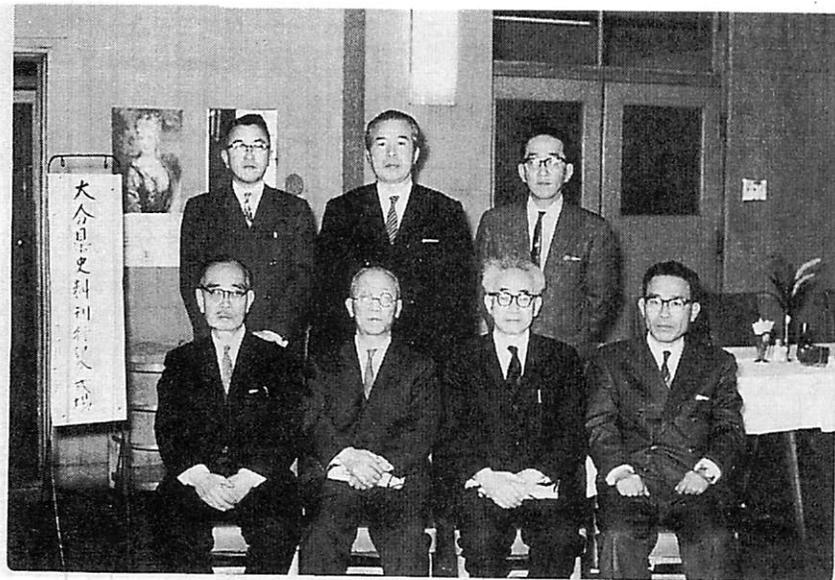
標 題	発 表 年 月 日	発 表 誌 等
豊の国歴史シリーズ⑥ 一字・一断簡、歴史の疑問を解く	平成 三年 六月 一日	『広報おおいた』
豊の国歴史シリーズ⑦ 高崎山の猿	平成 三年 七月 一日	『広報おおいた』
豊の国歴史シリーズ⑧ 高国府と高崎城	平成 三年 八月 一日	『広報おおいた』
豊の国歴史シリーズ⑨ もう一人の大友宗麟	平成 三年 九月 一日	『広報おおいた』
豊の国歴史シリーズ⑩ 大友宗麟と石火矢	平成 三年 十月 一日	『広報おおいた』
豊の国歴史シリーズ⑪ 歴史を創造った先人に学べ	平成 三年十一月 一日	『広報おおいた』
豊の国歴史シリーズ⑫ 近代日本の生みの親・福沢諭吉	平成 三年十二月 一日	『広報おおいた』
『大分県史』刊行を回顧して	平成 三年 二月二十七日	『大分県史編さんのあゆみ』
河野房男教授と研究業績について	平成 四年 二月 二十日	別府大学『史学論叢』22
大分県地方史研究会発足40周年を迎えて	平成 五年 四月二十九日	大分合同新聞
四十周年記念号刊行に当たって	平成 五年 九月 三十日	『大分県地方史』一五〇
一歴史学徒の牛歩の軌跡	平成 六年 九月 三十日	『泉』―次世代への贈りもの―(大分編)
『大友宗麟』評伝の刊行について	平成 七年 三月三十一日	大分県先哲叢書大友宗麟評伝付録
『中世のムラ』を読む	平成 七年 八月 三十日	『大分県地方史』一五八
『宗麟と南蛮文化』の公開を祝す	平成 八年 四月	『宗麟と南蛮文化』―津久見市収集10年の精華―
文化庁の地域文化功労者表彰について	平成 八年十二月二十五日	『大分県地方史』一六四

史料調査報告

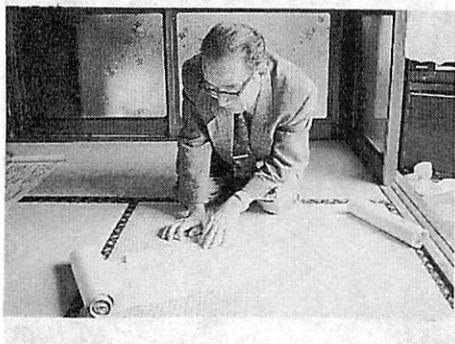
報告書	年月日	発表誌・調要機関	摘要
大分県近世庶民史料目録(一) ー直入郡武藤家文書・戸伏氏所蔵文書ー 大分県近世庶民史料目録(五) ー直入郡城後村・田北フサ子氏文書ー 到津 小山田 文書目録 到津近世文書目録 記録・古文書調査報告 記録・古文書調査報告 佐伯藩政史料目録	昭和四十二年 三月 三十日 昭和四十三年 三月 三十日 昭和四十八年 三月 昭和四十九年 三月 昭和五十一年 三月 三十日 昭和五十二年 三月 三十日 昭和五十四年 三月 二十日	『大分県地方史』四三、四四 合併号 『大分県地方史』四九号 大分県教育委員会 大分県教育委員会 大分県教育委員会 『六郷諸山関係文化財総合調査概要』(一) 同 佐伯市教育委員会	共編 共編 共編 共編 共編 共編 共編



大分県史料監修編集委員(昭和28年7月 於杵築)  
 向かって右から渡辺澄夫・安河内博・三木俊秋・清原貞雄  
 永勝龍子・竹内理三・中野幡能・富来隆の各氏



大分県史料刊行記念(昭和40年2月 於トキハ特別室)  
 前列向かって右から渡辺澄夫・竹内理三・坂本太郎・高田真治  
 後列右から清原宣雄・中野幡能・橋本操六の各氏



▲ ▲  
史料調査中の先生

’96大分県地方史研究大会での講演  
(平成8年5月19日)

▼ ▼  
書斎で史料を前に





宇佐風土記の丘歴史民俗資料館にて  
(昭和61年10月26日)



文化の日知事表彰の席で  
(平成元年11月3日平松知事と)



白杵ヤマコ美術館開館式典で  
(平成2年4月10日)



素謡「俊寛」前列右から2人目シテ尾登一信氏、同3人目ツレ(康頼)  
渡辺澄夫氏(昭和61年9月28日 九州山本会発表会 於芸術会館ホール)



自宅の前での先生御夫妻  
(平成6年8月7日)



別府大学卒業式のあとで  
(平成5年3月20日)